

# 新たなまちづくりに向けて



下関市議会議長 **関谷 博**

謹んで新春の挨拶を申し上げます



## 議会だより

議会の情報は下関市のホームページから

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

輝かしい平成27年の新春を迎えるに当たり、市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

下関市は、本年で合併して10年という節目の年を迎えます。合併後のまちづくりも最終段階を迎えました。今日まで「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を基本理念とした諸施策が実施され、まちづくりが着実に進められてきました。

私たち議会は合併時から、常に開かれた議会の実現を目指し、議会基本条例の制定をはじめ、誰もが傍聴できる議場の整備など、積極的に議会改革を進めてきました。地方分権の進展に伴い、住民代表としての意思決定機関である議会の役割がますます重要となる中、私たちは、市民参加の議会を目指すため、「市民と議会のつどい」を開催する他、市民の皆さまの声を市政に反映させるべく市民視線に立った議案審議などに臨んできました。

私は、二元代表制のもとで議会が皆さまの負託に応え、意思決定機関、チェック機関としての役割を十分に果たしていくためには、議会の権能を強化し、「強い議会」を築いていくことが必要であると考えています。そのため、国に対しては、議会の活動を制約している諸規定の見直しを求めていくと

### 年賀状の自粛について

公職にある者のあいさつ状(年賀状、暑中見舞い状などは、公職選挙法で禁止されています。)  
下関市議会では、答礼を含めて全てのあいさつ状を自粛していますので、市民の皆さまのご理解をお願いします。  
皆さまにとって幸多き新春となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

下関市議会



ともに、議員一人ひとりが、日々研さんし、能力向上に努め、合議体としての議会を活性化していかなければなりません。

さて、合併後10年が経過することから、国からの交付税が縮減されるため、財源が不足するなど、厳しい財政の見通しが示されています。そのような中、これからの10年間を見通した、新たなまちづくりの指針となる第2次下関市総合計画が策定され、下関市は、新しいステージへ踏み出すこととなります。

私たち議会は、本総合計画に基づく諸施策の進捗状況を注視し、その成果を検証しつつ、市に対して提言を行うなど、厳しい財政状況を乗り切り、魅力あるまちの実現に向け、精一杯努力していく所存です。

本年は、幕末の長州藩を舞台としたNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が放映されます。志を胸に激動の時代を生き抜いた姿は、感動をもたらすに違いありません。本年1月には、市議会議員選挙が実施されます。新しい議会となりましても、議員一同、激動の時代の中、新たなまちづくりのため、全力を注いでいくことに変わりはありません。どうか市民の皆さま方におかれましては、市議会に対し一層のご支援・ご激励を賜りますようお願い申し上げます。



国議会議事事務局議事課

☎231-4121(直通)

☎234-5171

✉gkgjika@city.shimonoseki.

yamaguchi.jp